

第9回日本吹奏楽アカデミー賞

演奏部門

汐澤 安彦 殿



□推薦理由

指揮者として、特に吹奏楽に深い理解を示し数多くのコンサートやCD録音の両分野で旺盛かつ幅広い活動を行っており、日本の吹奏楽活動の先頭にあり続けております。

□推薦内容

東京吹奏楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、シエナウインドオーケストラ、ジャパン・スーパー・バンドなどのプロ吹奏楽団の指揮を行い、優れた演奏・録音を残していることの業績は高いものがございます。

□プロフィール

1938年、新潟県に生る。1962年東京芸術大学器楽科卒業、1964年同専攻科終了。1967年1970年民音指揮コンクールで奨励賞を受賞、1973年同コンクールで第2位に入賞（1位なし）。

1975年ベルリンに留学、ベルリン音楽大学およびカラヤンアカデミーにて指揮者としてさらに研鑽をつむ。現在、東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブルの常任指揮者として、また東京吹奏楽専任指揮者をはじめ他のプロの吹奏楽団の指揮者と幅広い活動を行なっている。東京音楽大学助教授。

第9回日本吹奏楽アカデミー賞

作・編曲部門

(故) 平吉 毅州 殿



□推薦理由

吹奏楽のジャンルのなかで数少ない吹奏楽とコーラスが共演するオリジナルのミュージカルを作曲し地球的環境保護を訴える作品として本ミュージカルを発表し好評を得る。

□推薦内容

合唱と吹奏楽によるミュージカル「あいと地球と競売人」作詩・東 龍男/作曲・平吉毅州/編曲・真島俊夫以上のプロデュースにより発表され子供のコーラス・ソリスト、大人のコーラスを加えられている作品に対して評価。

□プロフィール

昭和11年7月神戸市に生まれる。昭和36年東京芸術大学作曲科卒業。昭和59年桐朋学園大学教授に就任。平成9年4月沖縄県立芸術大学教授に就任。平成10年5月28日午前2時20分永眠。

これまでに昭和37年第29回音楽コンクール作曲部門管弦楽曲の部第1位「管弦楽のためのコンポジション」、昭和44年度、尾高賞受賞「交響変奏曲」

第9回日本吹奏楽アカデミー賞

研究部門

保科 洋 殿



□推薦理由

これまで音楽を表現するための研究は色々な人によって出版されておりますが、今回出版されました保科 洋著「生きた音楽表現へのアプローチ」は実践にもとづいた音楽表現をエネルギー的視点から大変判りやすくまとめられた素晴らしい研究書でございます。

□推薦内容

音楽之友社出版「生きた表現へのアプローチ」
(エネルギー思考に基づく演奏解釈法)

<内容>

1. 楽曲分析と演奏解釈
2. 楽譜・音符・エネルギー
3. 音符のグループ構成機能
4. 楽曲分析の実際
5. 実作例の分析

□プロフィール

1936年東京に生まれる
1954年都立両国高等学校から東京芸術大学作曲科に入学。1960年同大学卒業。1957年毎日音楽コンクール作曲部門第3位、1960年同コンクール第1位入賞。1969年愛知県立芸術大学助教授、1982年兵庫教育大学教授、現在に至る。

第9回日本吹奏楽アカデミー賞

制作部門

株式会社

ミュージックエイト 殿



□推薦内容

吹奏楽・マーチングバンド・金管バンド・ジャズバンド・器楽合奏他幅広いジャンルの楽譜を制作・出版し、我が国のレパートリーの開発に大きな貢献をしている。

□推薦内容

長年にわたり、日本の吹奏楽活動の在り方とレパートリーの拡大に多大な影響を及ぼし、常に時代の新感覚をとらえ制作活動にあたっている。

□プロフィール

昭和40年12月創業。「楽譜を通じ青少年の豊かな心づくり」をモットーに吹奏楽、マーチングバンド、ジャズアンサンブル、金管バンド、トランペット鼓笛隊、イワサキアンサンブル、器楽合奏楽譜等の出版を行い今日に至る。

出版タイトル数は4,000以上。

第9回日本吹奏楽アカデミー賞

啓蒙部門

第10回全国女子バンド フェスティバル 殿

□推薦理由

全国の女子バンドが世界文化自由都市の京都市に集まり女子バンドの様々な音楽表現により新たな吹奏楽の創造性を求めたフェスティバルの開催は活気的であり素晴らしいものがございます。

□推薦内容

京都市役所前広場での交歓コンサートや京都市役所～四条寺町～河原町御池までのパレード。京都会館第1ホールでのコンサート等の開催。



□プロフィール

全国女子バンドフェスティバル実行委員会の主催により、これまで10回のフェスティバルを開催。全国の中学校・高等学校から女子バンドの参加団体を募集し、京都市を会場に交歓コンサートやパレードまた合宿等を行い女子バンドの交流と啓蒙活動を行なっている。

第9回日本吹奏楽アカデミー賞

特別部門

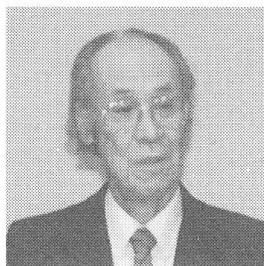
永長 信一 殿

□推薦理由

元・(社)全日本吹奏楽連盟の理事長として吹奏楽の普及と発展に貢献するとともに、数多くの後進の指導にあられたその功績は多大なものがございます。

□推薦内容

音楽活動50周年を記念し「記念演奏会」を開催、その指揮ぶりには多くの観客に感動を与えてくれました。



□プロフィール

大正11年生まれ。
関東学院高等部(旧制)卒業。東京芸術大学音楽学部教育科(通信制)終了。下総皖一、城多又兵衛、中村政雄、鍋木欽作の各氏に師事。

「英国祭UK'98」

ブリティッシュカウンシル 殿

□推薦理由

1998年の1年間をとおし「英国祭'98」を開催。音楽面ではオーケストラやコーラスの団体が来日し、英国と日本の文化の交流が行われ国際交流に大きな貢献をはたされました。

□推薦内容

「ザ・ロイヤル・ランサーズ」日本公演。東京ブラズンサエティ「英国のマーチと民謡の夕べ」。グライムソープコレアリーバンド日本公演。

